

授業で、人種差別についての英文を読んだ。南アフリカの地位向上、そして白人との共存をテーマにしたものだった。

私は人種差別の話を書くたびに、肌の色で優越を決めてしまうのは、なんと浅はかなのだろう。黒人だから虐げてもよいのか。白人だから何をしてもよいのか。そんな世の中をつくり上げたのは誰だ、と非常に憤りを感じる。

だが、それも一昔前の話と割り切れると思いきや、そうではない。先日、アメリカで、何の罪もない黒人が白人警官に撃たれ死亡した。市民によるデモが行われるほど、怒りは大きいものになった。

そういった事件が多発するアメリカを見ると、やはりまだ差別の考えが多少なりとも残っているのだ。皆同じ人間。差別が少しずつでも世界からなくなることを切に願う。(伊佐市)